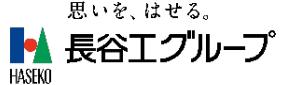


PRESS RELEASE



2025年9月26日

長谷工グループ 『飛鳥ハーフマラソン2026』に特別協賛 ボランティア社員300人が大会運営をサポート ～明日香村の更なる活性化に貢献します～

長谷工グループ（代表企業：株式会社長谷工コーポレーション、本社：東京都港区 代表取締役社長：熊野 聰以下、長谷工）は、2026年3月8日（日）に開催予定の「飛鳥ハーフマラソン2026」（以下、本大会）に特別協賛します。初回から5回連続となります。昨年と同様、長谷工グループの社員約300人がボランティアスタッフとして参加し、走路の安全管理や給水・給食など、本大会の運営をサポートします。本大会の参加エントリーは10月1日より開始します。

なお、本大会は実際に参加したランナーによる投稿などを基に選考される「全国ランニング大会100選」に2年連続選出されています。今回は記念すべき5回目の節目となる大会であり、ランナーへのプレゼント企画や5回連続出場ランナーへの特別アスリートビブス等、記念大会にふさわしい内容で準備が進められています。

舞台となる奈良県明日香村は、日本の原風景が色濃く残る特別な地域であり、「明日香村特別措置法」により、村全域の歴史的風土が守られている国内唯一の場所です。長谷工は、明日香村役場および明日香村地域振興公社と2017年に官民連携包括協定を締結し、史跡保全や地域活性化に向けた様々な取り組みを継続してきました。本年1月31日には、明日香村・橿原市・桜井市に跨る「飛鳥・藤原の宮都」が世界文化遺産の構成資産候補として閣議決定され、ユネスコ世界遺産委員会に推薦書が提出されました。2026年夏の世界文化遺産登録の正式決定を目指し、地域の注目度はますます高まっています。

長谷工は本大会への特別協賛を通じて、スポーツ振興と明日香村の更なる活性化に貢献するとともに、全国で事業を展開する企業グループとして、認知度と企業価値の向上、そして社員の一体感の醸成に努めてまいります。

【飛鳥ハーフマラソン2026 大会特別協賛概要】

- 約300人の社員ボランティアスタッフを派遣し、本大会の運営をサポートします。
- メディア等で本大会の告知を実施し、認知度の更なる向上に寄与します。
- 企業版ふるさと納税により、明日香村の史跡保全に寄与します。



【飛鳥ハーフマラソンロゴ】



【左：飛鳥ハーフマラソン2026案内 右：飛鳥ハーフマラソン2025の様子】

【飛鳥ハーフマラソン 2026 概要】

大会名称：飛鳥ハーフマラソン 2026

開催日時：2026年3月8日（日） 9:00スタート

ヨース：キトラ古墳・四神の館～天武・持統天皇陵～川原寺・橘寺～商工会館（折り返し①）

～甘樺丘～飛鳥水落遺跡～万葉文化館（折り返し②）～石舞台古墳～細川棚田（折り返し③）～阪田棚田～男綱～関西大学飛鳥文化研究所（折り返し④）～稻渕棚田～国営飛鳥歴史公園（高松塚古墳）～天武・持統天皇陵（折り返し⑤）～キトラ古墳・四神の館

計 21,0975km

募集人数：3,000人（満18歳以上）

参加費：6,000 円（税込）

申込方法：インターネットによる受付（先着順）

主 催・飛鳥ハーフマラソン実行委員会 明日香村 明日香村教育委員会

主 管・一般財団法人 奈良陸上競技協会

特別協賛・長谷工グループ



エントリー詳細は、飛島ハーフマラソン大会公式ホームページをチェック！

飛鳥ハーフマラソン

检索 |

■コース 「数々の世界遺産構成資産候補地を巡りながら飛鳥を堪能できるコースです。」

